# AI倫理基本方針

ムーンショットダイブ株式会社（以下「当会社」）は、コンピュータシステムの企画、開発、構築、保守、管理、運用およびコンサルティング、人工知能（AI）システムおよび関連技術の研究開発、ならびにこれらテクノロジーを活用した事業（以下「本事業」）を目的として掲げており、AI技術が社会に革新をもたらす強力なツールであることを認識し、その活用において社会的責任を果たし、ステークホルダーから信頼される存在であり続けるため、以下のAI倫理基本方針（以下「本倫理方針」）を定め、これを実践いたします。

第1条（人間中心の原則）
当会社は、AIを人間の能力を拡張し、豊かな社会を実現するための補助的な技術として位置づけます。AIの活用にあたっては、常に人間の尊厳を尊重し、AIによる自動的な出力結果を絶対的なものとせず、意思決定の最終的な責任は人間が負うことを基本とします。

第2条（公平性と非差別）
当会社が開発・利用するAIシステムにおいて、不当な差別や偏見を助長しないよう努めます。AIの学習および運用データに含まれる過去の慣習や偏りに留意し、性別、年齢、国籍、信条、社会的身分等に関わらず、可能な限り公平なアルゴリズムと、適正なプロセスに基づいたアウトプットを追求します。

第3条（知的財産権の保護と秘匿性の維持）
当会社が本事業において自社内で利用するために開発した独自のアルゴリズム、ノウハウ、およびシステムは、当会社の競争力を支える極めて重要な知的財産として厳重に管理・保護します。これらの技術的詳細およびロジックについては、当会社の正当な利益および特許を受ける権利を守るため、外部に対して非公開とすることを基本とします。

第4条（適正な運用と透明性の確保）
当会社は、前条の秘匿性を維持しつつも、AIシステムが本倫理方針および法令に則り適正に運用されていることを自ら検証します。外部に対しては、当会社の事業目的の範囲内において、どのような指標に基づきテクノロジーを活用しているかについて、合理的かつ適切な範囲で情報の提示を行い、透明性の確保に努めます。

第5条（データの適正管理とプライバシー保護）
AIの学習および運用に用いるデータについては、法規制を遵守し、当会社が別途定める「プライバシーポリシー」に基づき、厳重に管理します。特に個人に紐づく情報の取り扱いにおいては、その重要性を深く認識し、不適切なプロファイリングの防止とデータ保護を徹底します。

第6条（安全性と品質の確保）
AIシステムの開発・運用においては、利用者の不利益防止を優先事項とします。当会社が別途定める「情報セキュリティ基本方針」に基づき、外部からの不正アクセスやデータの改竄、予期せぬ挙動のリスクを最小限に抑えるための継続的な監視を行い、品質の維持・向上に努めます。

第7条（知的財産権の尊重）
AIを利用したコンテンツ作成や技術開発において、第三者の知的財産権を尊重します。当会社の知的財産権の管理目的に基づき、内部規程および適切なリーガルチェック等のプロセスを経て、AI技術の活用および権利の保護・取得を行います。

第8条（不適切な利用の禁止）
当会社は、AI技術を公序良俗に反する目的、他者の権利を侵害する目的、または社会的に不利益を及ぼす不正な目的（なりすまし、情報の改竄等）に利用しません。

第9条（技術者教育と技術継承）
当会社は、情報技術者に関する教育、研修、コンサルティングの目的に基づき 、AIを介した技術的知見の蓄積と継承を促進し、技術者のスキルアップと創造性を最大限に引き出す環境の構築に努めます。

第10条（社会への貢献と共創）
当会社は、AI技術の活用を通じて、ステークホルダーに対して誠実な事業運営を行い、持続可能な社会の発展に寄与します。

第11条（変更）
本倫理方針の内容は、法令その他本倫理方針に別段の定めのある事項を除いて、変更することができるものとします。また、変更後の本倫理方針は、当会社のWEBサイトに掲載したときから効力を生じるものとします。

制定日：2026年3月3日
施行日：2026年3月3日
ムーンショットダイブ株式会社
代表取締役　佐藤明日香